

建設委員会

ニュース

第11号

発行日
2018年
4月1日

泉州聴覚障害者センター（仮称）資金イベント チラシ・ポスター完成 チケットもすぐ！ 大々的な宣伝普及活動を！

平成30年2月28日（水）午後7時から谷町福祉センターで泉州聴覚障害者センター（仮称）建設委員会主催会が行われました。

6月10日のイベントポスターが届いたこと、チラシは先週の大聴協理事会で配布済み、チケットは番号付けで時間がかかっているが、1週間以内に届く予定と里井施設建設委員会事務局長から報告がありました。

続いて、清田施設建設委員会委員長から「50円募金の進捗が思わしくない。大阪はぎりぎりになってからパンと伸びる癖があるが、安心できるようにきちんと進めて欲しい。お願いします。」と挨拶がありました。

6月10日夜イベント 座席配分決まる。

里井事務局長から、大阪城ホールの座席振り分け案が出されました。公平に行き渡るように1つのブロックでアリーナ席が中央寄りであればスタンド席は端寄りになる様に、割り当てたのことで。説明後、ブロック長が座席を決めるため抽選をしました。

ブロック用に割り当てた席以外に、来



賓席や舞台に近いあたりの席、サイド側の席は事務局が扱うことになりました。美川憲一氏側からファン用にチケットを購入したいと連絡あり事務局で扱うことになりました。座席は3,765席あるので完売を目指します。

チラシについては、当初1万枚、追加で2万枚注文する予定。1回目のチラシはメンバー変更などでハンドサインの写真を載せることが出来ませんでした。2回目のチラシでは写真を入れる予定です。ハンドサインにもイベントの宣伝をお願いします。

続く建設候補地探し

あすくの里施設長の吉見さんから、建設候補地探しの経過報告がありました。条件は土地の広さが1,000㎡以上、建物600㎡から700㎡、車が15台から16台くらい駐車できること。泉州ブロックの真ん中あたりということで、岸和田市、貝塚市、泉佐野市付近を探しています。条件に合うような土地がなかなか見つからず、見つかったも「先祖代々の土地を自分の代で手放すことは出来ない。」等で難しい状況が続いています。

①土地と建物を借り、建物を改修する案
2つか見つかりませんでした。

工場とパチンコ屋で工場は天井まで10mと高く、空調が大変。岸和田駅近くのコンビニ店もありましたが、1軒だけでは面積が足りず2軒借る必要があります。賃貸料が月120万円にもなり払うことが出来ない。

②地主が銀行から融資を受けて建物を建て、それを借りる案もありましたが、その場合も月100万円ちかく払う必要があるのが難しいとのことでした。

土地を買い、建物を建てる案も浮上

来々年4月1日に開所するためには、3月末までに候補地を決める必要があります。①②案と並行して③の案として土地を購入して建物を建てる案も検討しています。

③案の候補地として、貝塚市、岸和田市があり、2月27日に大竹大聴協会長、長宗事務局長、中塚泉州ブロック長等を含む10人で見に行きました。貝塚市の土地が駅にも近いし、土地の形も理想的で、全員ここが良いとなったそうです。3月末まで他の候補地を探す一方、不動産屋や地主とも交渉する予定とのことでした。

泉州聴覚障害者センター（仮称）施設長決まる

2月3日の施設建設委員会事務局会議で、2019年4月1日開所準備が進んでいる泉州聴覚障害者センター（仮称）の施設長として、なかまの里副施設長の三田智士（みたさとし）氏が決定したと報告がありました。若くて元気な三田智士氏に頑張っていたいただきたいと思えます。



頑張っ欲しい！ 50円募金

法人から「目標の2000口は超えた。あと何口かは増えると思うがほぼ集められるところは集めた」と報告がありました。現在、口座に200万円くらい入っている状態とのことでした。

ただし全体的に見ると、目標にはまだまだ届かず、大聴協の数字が少ないことに対して、「報告せずに持っている状態なのですぐに報告してほしい。」と指摘がありました。

今後の予定 決り集集も

3月20日（火）午後7時から事務局会議、3月31日（土）午後6時から全体決り集集を開く予定です。全体決り集集では、各ブロックから最低50名を集め、ブロック長の決意表明を出してもらうことになりました。